

事業名	親のモラルや規範意識を高める活動
団体名	鹿嶋柔道スポーツ少年団（鹿嶋市）
連携・協働団体	子育て支援柔道クラブ
事業のねらい	最近の社会の大きな変化によって、親の意識や人々の相互扶助の精神が薄れていることに危機感を持ち、日常活動に色々な工夫を凝らした内容にしているが、モデル事業を展開することによって、それら環境の更なる改善に取り組む。
活動の内容	<p>1 啓発チラシの配布、のぼり旗の掲示、看板の製作</p> <p>2 柔スポ研究会における講演会 平成 21 年 1 月 18 日 場所 鹿嶋市高松公民館 講師 茨城キリスト教大学教授 安藤 博先生</p> <p>3 柔スポ研究大会における講話 平成 20 年 10 月 17 日 場所 カシマスポーツセンター格技場 講師 鹿嶋警察署生活安全課 石川課長</p> <p>4 日常活動時の啓発教育活動 日常練習活動：カシマスポーツセンター格技場 あいさつ・礼・約束事を守る・弱い子をいたわる・人の思いやり・ガマン、辛抱すること・履物を揃える・助け合っ楽しい活動を盛り上げることなど。 その他、野外活動、試合等に参加する際、啓発活動を行う。 対象者：団員・指導者・父兄・その他関係者</p> <p>《参加者・主催者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門の機関や講師からの啓発活動で、改めて今の社会の実情や親のあり方などを考えるいい機会となった。 ・日頃、ちょっとした気づき・気配りをする事の大切さや、関係者が共通認識を持って活動することの大切さを学んだ。 ・みんなが同じ気持ちで接し、活動することは楽しいこと、やりがいのあることを実感している。 ・家だけでは出来ない子育て方法・環境がありとても良かった。 ・日常活動の他に特別な運動をすることはより刺激剤となった。 ・日常活動で教育・指導していることが対外的にもいいこと、すばらしいということを理解し、賛同する場面が増えた。 ・父母が色々な活動に積極的に参加するようになった。 ・親子共々あいさつや礼の仕方が自然に出来るようになった。
今後の取組み	看板・ポスターチラシ等もそのまま継続して利用して活動を続ける。定例活動の他に、外部講師による講演会を開催して意識高揚を図りたい。リーダーとなる人材の発掘と養成に常に努めていきたい。
問い合わせ先	〒314 0026 鹿嶋市木滝佐田谷原入会 3 15 鹿嶋柔道スポーツ少年団 代表 仮屋 茂 電話 0299 83 3786



〔安藤博先生の講演〕



〔日常練習活動〕